

タテハチョウ科 (Nymphalidae)



属 Mimathyma
種小名 ambica
英名 /
和名 **キララコムラサキ**
分布 Himalayas~Laos
開長 63mm
食草 ニレ科のUlmus wallichiana c.f.文献2①



属 Stibochiona
種小名 shoenbergi
英名 /
和名 **カザリスミナガシ**
分布 Borneo
開長 60mm
食草 イラクサ科のOreocnide trinervia c.f.文献2①



属 Kallima
種小名 inachus
英名 /
和名 **コノハチョウ**
分布 India~台湾
開長 100mm♀
食草 キツネノゴマ科の各種 c.f.文献2①

この属はシベリアから中国大陸を経てヒマラヤに生息する種を含む。翅表はすべての種が黒地に白帯。

上種に近縁の2種。niceaはインド・ビルマ・タイからマレー半島にかけて、shoenbergiはボルネオに生息。

翅裏が木の葉に極似した種が多くコノハチョウの名で呼ばれる。東南アジアからアフリカの低地の森林に生息。アフリカ産は小型。マダガスカルにはいない。